



コロナ禍の孤立

これからたじまで取り組むこと

日程: 3/19(土) 14:00~15:30

場所: かわさき地域生活支援拠点 たじま

テーマトーク

江良泰成 (たじま家庭支援センター)

鈴木健 (社会福祉法人青丘社)

コメント

山口英理子 (東邦大学医学部精神神経医学講座)

高瀬顕功 (大正大学社会共生学部 公共政策学科)

全体での意見交換

定員20名 (事前申込制)

お問い合わせ

川崎ネット縁 事務局

MAIL: sanshirou643@gmail.com

※新型コロナウイルスの感染状況等により、変更の可能性がございます。
熱が37.5度以上ある方、体調の悪い方は参加をお控えください。

主催：川崎ネット縁

協力：川崎区機関連携会議



コロナ禍の孤立

これからたじまで取り組むこと

2020年、新型コロナウイルスの感染者が日本国内で確認され、私たちの日常は大きな変化を求められてきました。その変化の中、それまでの仕事や生活が上手くいけなくなり、居場所や楽しみを失った人もいます。とくに、社会的に弱い立場にいる人や、「助けて」というサインを出すことができない人は、社会の中で孤立してしまうリスクが高まっています。

私たち、川崎ネット縁（2020年3月発足）は、そうした人びとの援助希求を早期に見つけ、支援へとつなげられる居場所を、地域の福祉・医療関係者や支援機関、行政関係者などと共に考えてきました。

今回、コロナ禍での孤立をテーマを、地域の人たちと一緒に考えていきたいと思います。とくに、居場所を必要としている子どもや若者などに焦点をあて、コロナ禍での現状を知るとともに、「たじま」という地域でこれから何かできるのか、一緒に知恵を出し合い、その一歩を踏み出したいと思います。

川崎ネット縁 事務局

